

(1) 専攻科の授業科目の履修等に関する規則

(目的)

第1条 この規則は、宇部工業高等専門学校学則第54条第3項及び第56条の規定に基づき、専攻科の授業科目の履修方法及び成績の評価並びに修了の認定等について定めることを目的とする。

(単位の計算方法)

第2条 各授業科目の単位数は、1単位の授業科目を45時間の学習を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の各号の基準により単位数を計算するものとする。

- (1) 講義については、15時間の授業をもって1単位とする。
- (2) 演習については、30時間の授業をもって1単位とする。
- (3) 実験及び実習については、45時間の授業をもって1単位とする。

(履修方法)

第3条 専攻科に開設する授業科目の履修にあたっては、年度当初に別に定める「科目履修届」を所定の期日までに、校長に提出しなければならない。

(指導教員)

第4条 専攻科の学生は、各専攻科の指導教員から授業科目の履修及び特別研究の指導を受けるものとする。

(試験)

第5条 試験は、定期試験及び追試験とする。

- 2 定期試験は、各授業科目の授業を終了した後の学年末に実施する。
- 3 追試験は、次の各号の一に掲げる事由により、定期試験を受験することができなかった者で、別に定める「追試験受験願」を所定の期日までに校長に提出し、その許可を得た者に対し実施する。
 - (1) 疾病（医師の診断書を要する。）
 - (2) 忌引
 - (3) その他やむを得ない事由があると校長が認めた場合

(成績の評価)

第6条 成績は、授業科目ごとに第5条に規定する試験の成績、その他を総合して評点で評価する。

- 2 成績の評価は、優（A）、良（B）、可（C）及び不可（F）とし、次の評点区分による。

評価	優（A）	良（B）	可（C）	不可（F）
評点	100～80	79～70	69～60	59以下

- 3 各授業科目とも欠課時数が授業時数の1/4を超える者に対しては、評価を行わない。
- 4 遅刻及び早退は、3回をもって欠課1回とする。

(単位の認定)

第7条 前条第2項の規定に基づき、評価が優、良及び可に評価された授業科目については、当該科目を修得したものとして、単位を認定する。

(再履修)

第8条 単位を認定されなかった授業科目は、再履修することができる。

2 前項で定める再履修は、第3条の規定を準用する。

(他の高等教育機関において履修した単位の認定)

第9条 他の高等教育機関において履修した単位は、16単位を超えない範囲で専攻科における授業科目の履修とみなし、単位の修得を認定することができる。

(修了に必要な単位)

第10条 専攻科の修了に必要な単位数は、62単位以上(一般科目、専門基礎科目、専門科目の内訳は、学則第52条、別表第3及び別表第4のとおり)修得するものとする。

(修了認定)

第11条 校長は、学則及びこの規定に基づき、基準に該当する者について、修了認定会議に諮り修了を認定する。

附 則

この規則は、平成9年4月1日から施行する。

(省略)

附 則

1 この規則は、平成17年4月1日から施行する。

2 この規則施行の際、改正後の規則第10条については、平成17年度入学者から適用する。

(様式省略)

(2) 科目の単位と時間

専攻科のカリキュラムは、一般科目、専門基礎科目及び専門科目からなっています。各授業科目の履修は単位制により実施しており、講義、演習、実験・実習により行なわれます。

1 単位の授業時間は、次の基準により単位数を計算します。

講 義 科 目	15 時間の授業で 1 単位
演 習 科 目	30 時間の演習で 1 単位
実 験 ・ 実 習 科 目	45 時間の実験・実習で 1 単位

(3) 授業終始時刻

時 限	授 業 時 間		休憩時間	備 考
	始業時間	終業時間		
1	8:45			
2		10:25	10 分	
3	10:35			
4		12:15		
昼休時間	12:15 ~ 13:00		(45 分)	
5	13:00			
6		14:40	10 分	
7	14:50			
8		16:30		

(4) 受講手続き

時間割表を参考にして必修科目、選択科目どちらも履修届を（他大学にあっては併せて受講申請も）提出してください。必修科目は、必ず履修して単位を修得しなければならない科目です。選択科目は、開講されている科目の中から選択して履修し、単位を修得する科目です。

選択科目の中からどの科目を履修するかは、指導教員と相談のうえ、各自で決定してください。ただし、半期に履修できる単位数は、24 単位を超えないものとします。（特別研究、集中講義、インターンシップを除く。）

受講科目が決定した学生は、履修届を指定の日時までに学生課教務係に提出してください。

(5) 試験と単位認定

試験は、原則として授業の終了する学期末に行なわれます。

試験の実施日・時間等は、その都度掲示します。

合格とならなかった科目のうち、修得する必要がある科目は、原則として再履修しなければなりません。

他の高等教育機関での修得単位については、単位認定申請書を提出し、専攻科委員会で審査の上、専攻科における履修と見なし、16単位(そのうち8単位以上は専攻に係る単位)を超えない範囲で専攻科修得単位として認定されます。(取扱いについては(8)-(1)参照)
単位認定については、履修届を提出した科目のみ認められます。

(6) 専攻科修了要件

専攻科を修了するためには、62単位以上(一般科目、専門基礎科目、専門科目の修得単位数の内訳については、入学年度の教育課程表を参照のこと)修得しなければなりません。

なお、この単位には上記(5)の他の高等教育機関で修得した単位のうち、専攻科修得単位として認定された単位を含みます。

(7) 教育プログラム修了要件

本校には「生産システム工学」、「物質工学」、「経営情報工学」の3つの教育プログラムがあります。生産システム工学専攻の入学者は「生産システム工学」教育プログラムの履修者、物質工学専攻の入学者は「物質工学」教育プログラムの履修者、経営情報工学専攻の入学者は、「経営情報工学」教育プログラムの履修者となります。

本校の本科を卒業し専攻科に入学した者は、専攻科を修了しかつ学士の学位を取得することで、教育プログラムの修了となります。ただし、他の高等専門学校を卒業し専攻科に入学した者等、専攻科のカリキュラムだけでは本校の教育プログラムの修了要件を満たさない場合があります。(取扱いについては(8)-(2)参照) この場合、専攻科入学後、本校の本科4、5年の科目や他の高等教育機関の科目を履修して単位を取得する等により、以下に示す要件を満たす必要があります。(取扱いについては(8)-(3)参照)

教育プログラム修了要件(別表1、2参照)

1. 教育プログラムが定めた科目を修得していること。
2. 教育プログラムにおいて、124単位以上修得していること。
3. 教育プログラムにおいて、数学、自然科学及び科学技術に関する内容が全体の60%以上であること。
4. 学士を取得していること(外部評価項目)。

別表1 本プログラムが定めた科目（平成26年度「生産システム工学」教育プログラム）

J A B E E 基準1の(2) 本校の 学習・教育 目標		(a)	(b)	(c)	(d) 専門分野				(e)	(f)	(g)	(h)	(i)
		地球 的視 点か ら多 面的 に物 事を 考え る能 力	技術 が社 会や 自然 に及 ぼす 影響 (技術 者倫 理)	数学 ・自 然科 学	(1) プロ グラ ム独 自の 専門 工学	(2) 実 験計 画・ 遂行 ・解 析・ 説明 ・説 得能 力	(3) 創 造性 ・課 題探 求・ 解決 能力	(4) 実 務問 題の 理解 ・対 応能 力	社会 の要 求を 解決 する ため のデ ザイ ン能 力	コ ミュ ニケ ーシ ョン 能力	自 主的 ・継 続的 学習 能力	ま とめ の能 力	チ ーム で仕 事を する 能力
(A)	好奇心と 持続力			現代物理学 教養化学 自然科学 関連2単 位以上	卒業研究 工学実験 系6単位 以上		インター ンシップ			卒業研究			
(B)	情報技術			②群から 1科目以 上 情報処理 応用 情報技術 関連2単 位以上									
(C)	立案能力			①③⑤群 からそれ ぞれ1科 目以上	工学特論 I, II		エンジ アリン グデ ザイ ンI	工学特論 II	エンジ アリン グデ ザイ ンI	エンジ アリン グデ ザイ ンI		エンジ アリン グデ ザイ ンI	エンジ アリン グデ ザイ ンI
(D)	実現能力			特別研究 専門選 択科目 Dの中 から4 単位以 上		特別研究 エンジ アリン グデ ザイ ンII		特別研究 エンジ アリン グデ ザイ ンII		エンジ アリン グデ ザイ ンII	特別研究	エンジ アリン グデ ザイ ンII	エンジ アリン グデ ザイ ンII
(E)	解析能力			線形代数 数学関 連2単 位以 上 ④群 から1 科目以 上	工学複 合実 験 専門選 択科 目E の中 から4 単位以 上	工学複 合実 験						工学複 合実 験	工学複 合実 験
(F)	環境と 技術者倫理	環境と社 会 人文社会 科学系3 科目以上	技術者倫 理										
(G)	コミュニケーション 能力									特別研究 (学協会 等での発 表) 英語表現 日本語表 現 英語 語学から 4科目以 上		特別研究 (学協会 等での発 表)	

別表2-1 プログラムに係わる科目の分類(平成26年度 機械工学科用)

授業科目	学年配当		時間	学習・教育目標の分類	J A B E E 基準の分類	科目分類					備考
	4年	5年				人文・社会科学(語学を含む)		数学・自然科学・科学技術			
						語学系科目	人文・社会科学系科目	数学関連科目	自然科学関連科目	科学技術関連科目	
微分方程式	2		50.0	(E)	(c)			○			
応用数学	2		50.0	(E)	(c)			○			
応用物理Ⅱ	2		50.0	(A)	(c)				○		
情報処理言語Ⅱ	1		25.0	(B)	(c)					②	
情報処理応用Ⅰ		1	25.0	(B)	(c)					②	
情報処理応用Ⅱ		1	25.0	(B)	(c)					②	
材料力学Ⅱ	2		50.0	(E)	(c)					④	
材料科学Ⅱ		1	25.0	(C)	(c)					③	
熱力学	2		50.0	(E)	(c)					④	
水力学	2		50.0	(E)	(c)					④	
工業力学Ⅱ	2		50.0	(E)	(c)					④	
流体工学Ⅰ		1	25.0	(E)	(c)					④	
伝熱工学		2	50.0	(E)	(c)					④	
計測工学	2		50.0	(C)	(c)					①	
自動制御		1	25.0	(C)	(c)					①	
振動工学		1	25.0	(E)	(c)					④	
電気工学Ⅰ	1		25.0	(C)	(c)					①	
電気工学Ⅱ		1	25.0	(C)	(c)					①	
論理回路		1	25.0	(B)	(c)					②	
設計法Ⅰ	1		25.0	(C)	(c)					①	
設計法Ⅱ		2	50.0	(C)	(c)					①	
設計製図・CADⅣ	3		67.5	(C)	(c)					①	
設計製図・CADⅤ		1	25.0	(C)	(c)					①	
特別講義		1	25.0	(D)	(d)-(1)						○
工学実験	1		22.5	(A)	(d)-(2)						○
応用工学実験Ⅰ	2		45.0	(A)	(d)-(2)						○
応用工学実験Ⅱ		3	67.5	(A)	(d)-(2)						○
卒業研究		10	225.0	(A)	(d)-(2), (g)						○
修得単位計	25	27									
選択科目	加工学		1	25.0	(C)	(c)				①	
	計算力学		1	25.0	(E)	(c)				④	
	基礎材料強度学		1	25.0	(C)	(c)				③	
	材料力学Ⅲ		1	25.0	(E)	(c)				④	
	流体工学Ⅱ		1	25.0	(E)	(c)				④	
	基礎ロボット工学		1	25.0	(C)	(c)				①	
	工業英語		1	25.0	(G)	(f)	○				
	校外実習	1			(A)	(d)-(4)					○
	地域教育	1			(D)	(d)-(4)					○
	海外研修	1			(G)	(f)					○
	外部授業科目	4									
	修得単位計	3以上									
修得単位合計	55以上										

注) 科目分類欄の番号は、以下に示す基礎工学の5つの群を示す。各群から少なくとも1科目、合計最低6科目以上修得すること
 ①設計・システム群、②情報・論理群、③材料・バイオ群、④力学群、⑤社会技術群

別表2-2 プログラムに係わる科目の分類 (平成26年度 電気工学科 5年生用)

授 業 科 目				学 習 ・ 教 育 目 標 の 分 類	J A B E E 基 準 の 分 類	科 目 分 類					備 考
						人文・社会科学 (語学を含む)		数学 自然科学 科学技術			
						語学系科目	人文・社会科学系科目	数学関連科目	自然科学関連科目	科学技術関連科目	
学年配当		時間									
4年	5年										
必修科目	微分方程式	2		50.0	(E)	(c)			○		
	応用数学	2		50.0	(E)	(c)			○		
	応用物理Ⅱ	2		50.0	(A)	(c)			○		
	電気回路Ⅲ	1		25.0	(C)	(c)			①		
	通信工学Ⅰ	1		25.0	(B)	(c)			②		
	電子回路Ⅰ	2		50.0	(C)	(c)			①		
	情報処理Ⅲ	1		25.0	(B)	(c)			②		
	マイコン	2		50.0	(B)	(c)			②		
	制御工学Ⅰ	1		25.0	(C)	(c)			①		
	電気材料Ⅰ		1	25.0	(C)	(c)			③		
	電気機器Ⅱ	2		50.0	(E)	(c)			④		
	発電工学	2		50.0	(C)	(c)			①		
	数値計算法		1	25.0	(B)	(c)			②		
	基礎情報理論		1	25.0	(B)	(c)			②		
	工学実習	2		45.0	(A)	(d)-(2)				○	
	電気工学実験実習Ⅲ	4		90.0	(A)	(d)-(2)				○	
	電気工学実験実習Ⅳ		2	45.0	(A)	(d)-(2)				○	
	特別講義		1	25.0	(D)	(d)-(1)				○	
卒業研究		10	225.0	(A)	(d)-(2), (g)				○		
修得単位計	24	16									
選択科目	電気製図Ⅰ		1	25.0	(C)	(c)			①		
	電気製図Ⅱ		1	25.0	(C)	(c)			①		
	送配電工学		1	25.0	(C)	(c)			①		
	高電圧工学		1	25.0	(C)	(c)			①		
	電気法規		1	25.0	(C)	(c)			⑤		
	電気設計		1	25.0	(C)	(c)			①		
	制御工学Ⅱ		1	25.0	(C)	(c)			①		
	制御工学Ⅲ		1	25.0	(C)	(c)			①		
	生産システム工学		1	25.0	(C)	(c)			①		
	電子回路Ⅱ		1	25.0	(C)	(c)			①		
	電気機器応用		1	25.0	(E)	(c)			④		
	電気材料Ⅱ		1	25.0	(C)	(c)			③		
	光エレクトロニクス		1	25.0	(C)	(c)			①		
	通信工学Ⅱ		1	25.0	(B)	(c)			②		
	コンピュータネットワーク		1	25.0	(B)	(c)			②		
	応用情報処理		1	25.0	(B)	(c)			②		
	工業英語		1	25.0	(G)	(f)	○				
	校外実習		1		(A)	(d)-(4)				○	
地域教育		1		(D)	(d)-(4)				○		
海外研修		1		(G)	(f)				○		
外部授業科目		4									
修得単位計		14以上									
修得単位合計		54以上									

注) 科目分類欄の番号は、以下に示す基礎工学の5つの群を示す。各群から少なくとも1科目、合計最低6科目以上修得すること
 ①設計・システム群、②情報・論理群、③材料・バイオ群、④力学群、⑤社会技術群

別表2-3 プログラムに係わる科目の分類 (平成26年度 制御情報工学科用)

授業科目				学習・教育目標の分類	J A B E E 基準の分類	科目分類					備考
						人文・社会科学 (語学を含む)		数学 自然科学 科学技術			
						語学系科目	人文・社会科学系科目	数学関連科目	自然科学関連科目	科学技術関連科目	
学年配当		時間									
4年	5年										
必修科目	応用数学	2		50.0	(E)	(c)			○		
	微分方程式	2		50.0	(E)	(c)		○			
	応用物理Ⅱ	2		50.0	(A)	(c)			○		
	プログラミングⅢ	1		25.0	(B)	(c)				②	
	通信工学	2		50.0	(B)	(c)				②	
	ソフトウェア工学		1	25.0	(B)	(c)					②
	数値計算	1		25.0	(B)	(c)					②
	生体情報学		1	25.0	(C)	(c)					③
	情報理論		1	25.0	(B)	(c)					②
	計算機工学		2	50.0	(B)	(c)					②
	論理回路	1		25.0	(B)	(c)					②
	センサとアクチュエー	1		25.0	(C)	(c)					①
	計測工学Ⅰ	1		25.0	(C)	(c)					①
	計測工学Ⅱ		2	50.0	(C)	(c)					①
	制御工学Ⅰ	2		50.0	(C)	(c)					①
	制御工学Ⅱ		2	50.0	(C)	(c)					①
	基礎ロボット工学		1	25.0	(C)	(c)					①
	工業力学	2		50.0	(E)	(c)					④
	創造製作・実験	4		90.0	(A)	(d)-(2), (g)					○
	工学実験		5	112.5	(A)	(d)-(2)					○
特別講義	1		25.0	(D)	(d)-(1)					○	
卒業研究Ⅰ	3		67.5	(A)	(d)-(2), (g)					○	
卒業研究Ⅱ		10	225.0	(A)	(d)-(2), (g)					○	
修得単位計		25	25								
選択科目	知能情報論		1	25.0	(B)	(c)					②
	符号理論		1	25.0	(B)	(c)					②
	画像処理		1	25.0	(B)	(c)					②
	画像応用工学		1	25.0	(B)	(c)					②
	信号処理		1	25.0	(B)	(c)					②
	音響工学		1	25.0	(B)	(c)					②
	デジタル通信		1	25.0	(B)	(c)					②
	校外実習	1			(A)	(d)-(4)					○
	地域教育	1			(D)	(d)-(4)					○
	海外研修	1			(G)	(f)					○
外部授業科目		4									
修得単位計		4以上									
修得単位合計		52以上									

注) 科目分類欄の番号は、以下に示す基礎工学の5つの群を示す。各群から少なくとも1科目、合計最低6科目以上修得すること
 ①設計・システム群、②情報・論理群、③材料・バイオ群、④力学群、⑤社会技術群

別表2-4 プログラムに係わる科目の分類（平成26年度 一般科目（本科）用）

授 業 科 目				学 習 ・ 教 育 目 標 の 分 類	J A B E E 基 準 の 分 類	科 目 分 類					備 考	
						人 文 ・ 社 会 学 科 学 (語 学 を 含 む)		数 学 自 然 科 学 科 学 技 術				
						語 学 系 科 目	人 文 ・ 社 会 学 科 学 系 科 目	数 学 関 連 科 目	自 然 科 学 関 連 科 目	科 学 技 術 関 連 科 目		
学 年 配 当		時 間										
4 年	5 年											
必 修 科 目	国語IV	1		25.0	(G)	(f)	○					
	英語演習 I B	2		50.0	(G)	(f)	○					
	英語演習 I C		1	25.0	(G)	(f)	○					
	法学	2		50.0	(F)	(a)		○				
	社会科学 I		1	25.0	(F)	(a)		○				
	社会科学 II		1	25.0	(F)	(a)		○				
	中国語 I	2		50.0	(G)	(f)	○					
	修得単位計	7	3									
選 択 科 目	資格英語演習	2		50.0	(G)	(f)	○					
	イングリッシュコミュニケーション II	2		50.0	(G)	(f)	○					
	ドイツ語	2		50.0	(G)	(f)	○					
	中国語 II		2	50.0	(G)	(f)	○					
	修得単位計	2以上										
修得単位合計		12以上										

注) 科目分類欄の番号は、以下に示す基礎工学の5つの群を示す。各群から少なくとも1科目、合計最低6科目以上修得すること
 ①設計・システム群、②情報・論理群、③材料・バイオ群、④力学群、⑤社会技術群

別表2-5 プログラムに係わる科目の分類（平成26年度 生産システム工学専攻用）

	学 習 ・ 教 育 目 標 の 分 類	J A B E E 基 準 の 分 類	科目分類					備 考						
			人文・社会科学（語学を含む）		数学・自然科学・科学技術									
			語学系科目	人文・社会科学系科目	数学関連科目	自然科学関連科目	科学技術関連科目							
授 業 科 目		学 年 配 当		時 間										
		1 年	2 年											
一般科目	必修	日本語表現	2		25.0	(G)	(f)	○						
		英語表現	2		25.0	(G)	(f)	○						
		英語	2		25.0	(G)	(f)	○						
		環境と社会	2		25.0	(F)	(a)		○					
		技術者倫理	2		25.0	(F)	(b)		○					
		修得単位計	10以上※											
専門基礎科目	必修	線形代数	2		25.0	(E)	(c)			○				
		現代物理学	2		25.0	(A)	(c)				○			
		教養化学	2		25.0	(A)	(c)				○			
	選択	情報処理応用	2		25.0	(B)	(d)-(1)					○		
		応用微分方程式論	2	2	25.0	(E)	(c)			○				
		環境科学	2		25.0	(A)	(c)				○		} 2科目 4単位 以上	
		生命科学	2		25.0	(A)	(c)				○			
		複雑系理論入門		2	25.0	(B)	(d)-(1)					○		
	経営管理工学		2	25.0	(C)	(c)					⑤	} 1科目 2単位 以上		
	MOT入門		2	25.0	(C)	(c)					⑤			
修得単位計	14以上※													
専門科目	必修	工学特論Ⅰ	2		25.0	(C)	(d)-(1)					○		
		工学特論Ⅱ	2		25.0	(C)	(d)-(1), (d)-(4)					○		
		エンジニアリングデザインⅠ	1		25.0	(C)	(d)-(3), (e), (g), (i)						○	
		エンジニアリングデザインⅡ	2		50.0	(D)	(d)-(3), (e), (g), (i)						○	
		工学複合実験	1		37.5	(E)	(d)-(1), (d)-(2), (h), (i)						○	
		インターンシップ		2		(A)	(d)-(4)						○	
		特別研究	7	7	525.0	(D), (G)	(d)-(1), (d)-(3), (e), (h)						○	
	選択	計測システム工学	2		25.0	(D)	(d)-(1)						○	} 2科目 4単位 以上
		オペレーティングシステム工学	2		25.0	(D)	(d)-(1)						○	
		情報ネットワーク	2		25.0	(D)	(d)-(1)						○	
		ネットワーク技術特論	2		25.0	(D)	(d)-(1)						○	
		材料強度学		2	25.0	(D)	(d)-(1)						○	
		トライボロジー		2	25.0	(D)	(d)-(1)						○	
		材料組織学		2	25.0	(D)	(d)-(1)						○	
		システム制御工学	2		25.0	(D)	(d)-(1)						○	
		ロボット工学		2	25.0	(D)	(d)-(1)						○	
		電力工学	2		25.0	(D)	(d)-(1)						○	
		パワーエレクトロニクス	2		25.0	(D)	(d)-(1)						○	
		エネルギーデバイス工学	2		25.0	(D)	(d)-(1)						○	
		無機機能材料工学		2	25.0	(D)	(d)-(1)						○	
		制御理論		2	25.0	(E)	(d)-(1)						○	
		画像解析学	2		25.0	(E)	(d)-(1)						○	
		量子力学	2		25.0	(E)	(d)-(1)						○	
		電磁気学理論	2		25.0	(E)	(d)-(1)						○	
		カオス入門		2	25.0	(E)	(d)-(1)						○	
弾塑性力学	2		25.0	(E)	(d)-(1)						○			
応用流体工学		2	25.0	(E)	(d)-(1)						○			
解析力学	2		25.0	(E)	(d)-(1)						○			
伝熱特論		2	25.0	(E)	(d)-(1)						○			
電子回路設計解析学	2		25.0	(E)	(d)-(1)						○			
計算機応用計測	2		25.0	(E)	(d)-(1)						○			
半導体電子物性	2		25.0	(E)	(d)-(1)						○			
光物性基礎論		2	25.0	(E)	(d)-(1)						○			
修得単位計	32以上※													
修得単位合計	62以上													

※ 他の高等教育機関において修得した単位を含める。

注) 科目分類欄の番号は、以下に示す基礎工学の5つの群を示す。各群から少なくとも1科目、合計最低6科目以上修得すること
 ①設計・システム群、②情報・論理群、③材料・バイオ群、④力学群、⑤社会技術群

別表1 本プログラムが定めた科目（平成26年度「物質工学」教育プログラム）

JABEE 基準1の(2) 本校の 学習・教育 目標		(a)	(b)	(c)	(d)専門分野			(e)	(f)	(g)	(h)	(i)
		地球的視点から多面的に物事を考える能力	技術が社会や自然に及ぼす影響（技術者倫理）	数学・自然科学	(1)工学基礎知識・問題解決能力	(2)化学工学基礎知識・問題解決能力	(3)化学関連基礎知識・実験技術・問題解決能力	(4)応用・デザイン・マネジメント能力	社会の要求を解決するためのデザイン能力	コミュニケーション能力	自主的・継続的学習能力	まとめの能力
(A)	好奇心と持続力			現代物理学 自然科学 関連2単位以上		化学工学 実験 専門基礎 関連4単位以上 物理化学 実験	インター ンシップ 卒業研究 専門関連 (実験、 ゼミ) 8 単位以上			卒業研究		
(B)	情報技術			情報処理 基礎、情 報処理応 用から2 単位以上 工学基礎 関連6単 位以上								
(C)	立案能力			工学特論 I, II 経営管理 工学、MOT 入門から 2単位以 上	化学工学 基礎関連 4単位以 上	専門基礎 関連7単 位以上	エンジニ アリング デザイン	エンジニ アリング デザイン				
(D)	実現能力						特別研究 特別講義 専門選択 科目Dの 中から4 単位以上	特別研究		エンジニ アリング デザイン	特別研究	エンジニ アリング デザイン
(E)	解析能力			線形代数 数学関連 2単位以 上	工学基礎 関連1単 位以上		工学総合 実験 専門選択 科目Eの 中から4 単位以上				工学総合 実験	工学総合 実験
(F)	環境と 技術者倫理	環境と社 会 人文社会 科学系4 単位以上	技術者倫 理	環境科学								
(G)	コミュニケーション 能力								特別研究 (学協会 等での発 表) 日本語表 現 英語表現 英語 語学系8 単位以上		特別研究 (学協会 等での発 表)	

別表2-3 プログラムに係わる科目の分類（平成26年度 物質工学専攻用）

授業科目				学年配当 1年 2年		時間	学習・教育目標の分類	J A B E E 基準の分類	科目分類					備考	
									人文・社会科学（語学を含む）		自然科学（語学を含む）				
									語学系科目	人文・社会科学系科目	数学関連科目	自然科学関連科目	科学技術関連科目		
一般科目	必修	日本語表現	2		25.0	(G)	(f)	○							
		英語	2		25.0	(G)	(f)	○							
		英語表現	2		25.0	(G)	(f)	○							
		環境と社会	2		25.0	(F)	(a)		○						
		技術者倫理	2		25.0	(F)	(b)		○						
修得単位計		10以上※													
専門基礎科目	必修	線形代数	2		25.0	(E)	(c)			○					
		現代物理学	2		25.0	(A)	(c)				○				
		環境科学	2		25.0	(F)	(c)				○				
	選択	応用微分方程式論		2	25.0	(E)	(c)			○				2科目 4単位以上	
		エネルギーデバイス工学	2		25.0	(D)	(d)-(4)					○			
		生命科学	2		25.0	(A)	(c)					○			
		複雑系理論入門		2	25.0	(B)	(d)-(1)					○			
		情報処理基礎	2		25.0	(B)	(d)-(1)					○		1科目 2単位以上	
		情報処理応用	2		25.0	(B)	(d)-(1)					○			
		経営管理工学		2	25.0	(C)	(d)-(1)					○		1科目 2単位以上	
MOT入門		2	25.0	(C)	(d)-(1)					○					
修得単位計		14以上※													
専門科目	必修	工学特論Ⅰ	2		25.0	(C)	(d)-(1)					○			
		工学特論Ⅱ	2		25.0	(C)	(d)-(1)					○			
		物質工学エッセンス/フロンティア	3		75.0	(C), (D)	(d)-(4), (e), (g), (i)					○			
		物質工学総合実験	1		37.5	(E)	(d)-(4), (h), (i)					○			
		インターンシップ		2			(A)	(d)-(4)					○		
		特別研究	7	7	525.0	(D), (G)	(d)-(4), (e), (h)					○			
	選択	無機機能材料工学		2	25.0	(D)	(d)-(4)						○	2科目 4単位以上	
		生体触媒工学		2	25.0	(D)	(d)-(4)						○		
		材料有機化学		2	25.0	(D)	(d)-(4)						○		
		栄養生化学		2	25.0	(D)	(d)-(4)						○		
		反応工学		2	25.0	(E)	(d)-(4)						○		
		精密分析化学		2	25.0	(E)	(d)-(4)						○		2科目 4単位以上
		有機合成化学		2	25.0	(E)	(d)-(4)						○		
		コロイド科学		2	25.0	(E)	(d)-(4)						○		
		無機溶液化学		2	25.0	(E)	(d)-(4)						○		
		修得単位計		32以上※											
修得単位合計		62以上													

※ 他的高等教育機関において修得した単位を含める。

別表1 本プログラムが定めた科目（平成26年度「経営情報工学」教育プログラム）

J A B E E 基準1の(2) 本校の 学習・教育 目標		(a)	(b)	(c)	(d) 専門分野			(e)	(f)	(g)	(h)	(i)
		地球的視点から多面的に物事を考える能力	技術が社会や自然に及ぼす影響（技術者倫理）	数学・自然科学	(1) 経営管理に関する知識・活用能力	(2) 数理的な解析能力	(3) 情報技術の活用・应用能力	社会の要求を解決するためのデザイン能力	コミュニケーション能力	自主的・継続的学習能力	まとめの能力	チームで仕事をする能力
(A)	好奇心と持続力			自然科学概論 卒業研究 経営情報研究ゼミ 経営情報学特別演習 インターンシップ				インターンシップ		卒業研究 経営情報研究ゼミ		
(B)	情報技術						情報理論 システム設計論Ⅰ・Ⅱ 情報技術（専門分野）関連2単位以上					
(C)	立案能力		知的財産法	経営管理特論 MOT入門 経営情報工学特論Ⅰ 経営情報工学特論Ⅱ 経営財務論Ⅰ・Ⅱ 財務会計論Ⅰ・Ⅱ 経営管理（専門分野）関連8単位以上				経営情報工学特論Ⅱ 経済学Ⅰ・Ⅱ 経営管理（専門分野）関連2単位以上				経営情報学専門演習Ⅲ
(D)	実現能力						特別研究 社会システム工学実験Ⅲ 情報技術（専門分野）関連3単位以上	特別研究			特別研究 社会システム工学実験Ⅲ	社会システム工学実験Ⅲ
(E)	解析能力			線形代数 電磁気学理論 電子回路設計解析学 数学関連2単位以上	社会システム工学実験Ⅰ 数理（専門分野）関連4単位以上	社会システム工学実験Ⅱ	社会システム工学実験Ⅰ					
(F)	環境と技術者倫理	環境と社会 人文・社会科学系7単位以上	技術者倫理									
(G)	コミュニケーション能力							特別研究 日本語表現 英語 英語表現 語学系9単位以上		特別研究（学協会等での発表）		

別表2-3 プログラムに係わる科目の分類 (平成26年度 経営情報工学専攻用)

授業科目					学年配当 1年 2年	時間	学習・教育目標の分類	J A B E E 基準の分類	科目分類					備考	
									人文・社会科学 (語学を含む)		数学 自然科学 科学技術				
									語学系科目	人文・社会科学系科目	数学関連科目	自然科学関連科目	科学技術関連科目		
一般科目	必修	日本語表現	2		25.0	(G)	(f)	○							
		英語表現	2		25.0	(G)	(f)	○							
		英語	2		25.0	(G)	(f)	○							
		環境と社会	2		25.0	(F)	(a)		○						
		技術者倫理	2		25.0	(F)	(b)		○						
		修得単位計	10以上												
専門基礎科目	必修	線形代数	2		25.0	(E)	(c)			○					
		経営管理特論	2		25.0	(C)	(d)-(1)					○			
		MO T 入門	2		25.0	(C)	(d)-(1)					○			
		情報理論	2		25.0	(B)	(d)-(3)					○			
		電磁気学理論	2		25.0	(E)	(c)				○				
		電子回路設計解析学	2		25.0	(E)	(c)				○				
	選択	知的財産法特論	2		25.0	(C)	(b)		○						
		e コマースシステム論		2	25.0	(C)	(d)-(1)					○			
		経営管理工学	2		25.0	(C)	(d)-(1)					○			
		プログラミング特論		2	25.0	(D)	(d)-(3)					○			
		数理情報工学		2	25.0	(E)	(c)			○					
		複雑系理論入門	2		25.0	(E)	(c)					○			
		オペレーティングシステム工学		2	25.0	(B)	(d)-(3)					○			
		実験計画法		2	25.0	(E)	(c)					○			
修得単位計	14以上														
専門科目	必修	経営情報工学特別研究	7	7	525.0	(D), (G)	(d)-(3), (e), (f), (h)						○		
		経営情報工学特論 I	2		25.0	(C)	(d)-(1)					○			
		経営情報工学特論 II		2	25.0	(C)	(d)-(1), (e)					○			
		社会システム工学実験 I	2		75.0	(E)	(d)-(2), (e)					○			
		社会システム工学実験 II	2		75.0	(E)	(d)-(3)					○			
		社会システム工学実験 III		2	75.0	(D)	(d)-(3), (h), (i)					○			
	選択	インターンシップ		2			(A)	(e), (d)-(1)						○	
		ネットワーク組織論		2	25.0	(C)	(d)-(1)							○	
		MO T 特論		2	25.0	(C)	(d)-(1)							○	
		会計監査論		2	25.0	(C)	(d)-(1)							○	
		経営工学特論		2	25.0	(E)	(d)-(2)							○	
		ネットワーク技術特論		2	25.0	(D)	(d)-(3)							○	
		データベース応用		2	25.0	(D)	(d)-(3)							○	
		応用統計学		2	25.0	(E)	(d)-(2)							○	
感性情報処理		2	25.0	(D)	(d)-(3)							○			
外書講読	2		25.0	(G)	(f)	○									
修得単位計	34以上														
修得単位合計		62以上													

1科目
2単位
以上

4科目
8単位
以上

(8) 他の高等教育機関で取得した単位の取扱い

他の高等教育機関で取得した単位は、以下のように取り扱います。

- (1) 本校の学生が他の高等教育機関で取得した単位について、内容が本校の学習・教育目標及び各専攻の教育目的に合っている科目については単位を認定します。
- (2) 他学校等から本校の専攻科へ入学した学生の既修得単位について、次の各号の条件をすべて満たした科目については単位を認定します。
 - ① 授業内容が「生産システム工学」、「物質工学」もしくは「経営情報工学」教育プログラムに合っていること。
 - ② JABEE 認定を受けた教育プログラムの科目であること。または、JABEE 認定を受けていない教育プログラムの科目では試験等を行い、本校の教育レベルと同等以上と判定されたものであること。
 - ③ 授業時間が、22.5 時間以上であること。
- (3) 専攻科に入学した学生で、「生産システム工学」、「物質工学」もしくは「経営情報工学」教育プログラムを修了するために本科の単位数又は学習時間が不足することが生じた場合は、以下の方法で補うことができます。
 - ① (8)の(1)に示す他の高等教育機関で履修し単位を取得する。
 - ② 本校本科の授業科目を履修し単位を取得する。

(9) 宇部工業高等専門学校学生表彰規則

制定 昭和 63 年 4 月 1 日

改正 平成 6 年 8 月 1 日

平成 23 年 3 月 7 日

平成 25 年 12 月 10 日

(趣旨)

第 1 条 この規則は宇部工業高等専門学校学則第 38 条第 2 項の規定に基づき、本校の学生の表彰について定めるものとする。

(表彰)

第 2 条 表彰は、次の各号の一に該当する者について行うものとする。

- (1) 3 年間を通じて、学業、人物ともに優秀な者
- (2) 卒業又は修了時において、学業、人物ともに優秀な者
- (3) 卒業時において、5 年間を通じて皆勤の者
- (4) 国立高等専門学校学習到達度試験又は TOE I C 等の資格試験において優秀な成績を収めた者
- (5) 課外活動に卓越した成果を収めた者
- (6) その他学生の模範として推奨できる行為又は功労のあった者

2 学校主催行事における成績の顕著な者の表彰については、別に定める。

(表彰の推薦)

第 3 条 前条第 1 項の表彰に該当すると認められる者のあった場合、教職員は、校長補佐（教務主事）、校長補佐（学生主事）又は校長補佐（寮務主事）等を経て、表彰推薦書（別紙様式 1）により推薦することができる。

(表彰の決定)

第 4 条 表彰は、第 2 条第 1 項第 1 号及び第 1 項第 3 号にあつては教務委員会、同条第 1 項第 2 号及び第 4 号にあつては教務委員会又は専攻科委員会、同条第 1 項第 5 号にあつては厚生補導委員会、同条第 1 項第 6 号にあつては各所管委員会の議を経て、校長が決定するものとする。

(表彰の時期)

第 5 条 第 2 条第 1 項第 1 号に規定する表彰は第 4 学年の前期に、同条第 1 項第 2 号及び第 3 号に規定する表彰は卒業又は修了時に、同条第 1 項第 4 号から第 6 号に規定する表彰は、その都度行うものとする。

(授与)

第6条 校長は、第4条の規定により表彰を決定したときは、表彰状を授与するものとする。

2 前項の表彰状授与にあわせて、記念品を贈呈することができる。

3 表彰状の様式は、次の各号に定めるとおりとする。

- | | |
|-----------------------|-----------|
| (1) 第2条第1項第1号の表彰 | 別紙様式2 |
| (2) 第2条第1項第2号の表彰 | 別紙様式3 |
| (3) 第2条第1項第3号の表彰 | 別紙様式4 |
| (4) 第2条第1項第4号及び第5号の表彰 | 別紙様式5 |
| (5) 第2条第1項第6号の表彰 | その都度定める様式 |

(その他)

第7条 学生の表彰について、この規則によりがたい場合は、その都度関係機関で協議するものとする。

附 則

この規則は、昭和63年4月1日から施行する。

附 則

1 この規則は、平成6年8月1日から施行する。

2 この規則の施行前に作成されたこの規則による改正前の宇部工業高等専門学校文書処理規則、宇部工業高等専門学校国有財産監守規則、宇部工業高等専門学校発明規則、宇部工業高等専門学校共同研究取扱規則、宇部工業高等専門学校研究生規則、学部工業高等専門学校聴講生規則及び宇部工業高等専門学校学生表彰規則の様式による書面は、この規則による改正後のそれぞれ対応する様式により作成された書面とみなす。

附 則

この規則は、平成23年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成26年4月1日から施行する。

(10) 視聴覚教室等特別教室使用心得

- 1 視聴覚教室等特別教室（「特別教室」とは、視聴覚教室、マルチメディア学習室及び合同講義室等、ホームルーム以外の教室をいう。以下同じ。）は、正規の授業のほか、課外講義、講演、演習、研究発表などの学習及び研修のために使用するものとする。
- 2 使用を希望する場合は、使用責任者があらかじめ教務係に使用申込みをすること。
 - (1) 使用責任者とは、講義等を直接担当する教職員又は学生会のクラブ若しくは、同好会等の顧問教員をいう。
 - (2) 使用申込みは、使用希望者（団体）の名称及び使用日時を明確にして行うものとする。
- 3 使用時間は、授業に使用するもののほかは、原則として、次のとおりとする。

平日	8時30分～20時00分
休日	10時00分～18時00分（長期休業中などを除く。）

特別教室の使用において、やむを得ず前述の時間を超過する場合（特別に企画される講義、演習等）には、あらかじめ教務係へ申し出た上、使用責任者は、図書館棟玄関の施錠その他必要な事項を申し受けるものとする。
- 4 特別教室の機器、器具等の取扱いについては、次による。
 - (1) 視聴覚室倉庫には、指導教員又は、関係教職員以外の者の入室を禁ずる。
 - (2) 特別教室内の装置は、すべて指導教員及び関係教職員が操作する。ただし、楽器類については、この限りではない。
- 5 使用にあたっての注意事項は、おおむね次のとおりとする。
 - (1) 使用責任者は、原則として終始指導監督すること。
 - (2) 飲食及び他人の迷惑になる行為（大きな声で話す等）をしないこと。
 - (3) 施設、備品等一切の保存に十分留意し、破損又は汚損のあった場合には、使用責任者は直ちに教務係へその旨を届け出ること。
 - (4) 使用後は、部屋の状態を必ず使用前の状態に復し、照明、冷暖房等使用した電気機器類は必ず電源を切ること。また、窓及び扉の戸締まりと必要な施錠を行うこと。
 - (5) 平日の18時以降及び休日においては、警務員室にて鍵の受け渡しを行うこと。

附 則

この心得は、昭和46年4月1日から施行する。

（省略）

附 則

この心得は、平成23年3月1日から施行する。

(11) 情報処理センター利用心得

1 利用者の範囲

- (1) 本校の教職員及び学生
- (2) 校長の承認を得た者

2 利用手続

- (1) 演習室の利用に当たっては情報処理センター・スタッフの指示に従わなければならない。
- (2) その他の情報処理センター施設を利用しようとする者は、別に定める利用願を情報処理センター長に提出し、許可を得なければならない。

3 基幹システムの操作者の範囲

- (1) 技術職員
- (2) 本校の教職員で基幹システムの操作に十分な能力を有すると情報処理センター委員会が認めた者

4 利用時間

- (1) 利用時間は以下のとおりとする。

平 日	午前 8 時 30 分から午後 8 時まで
土・日・祝日	午前 10 時から午後 6 時まで

(長期休業中などを除く)
- (2) 情報処理センター長が必要と認めた場合は、前号の規定にかかわらず、利用時間を変更することがある

5 その他

- (1) 能率的に実習を行い、雑談・飲食等をしないこと。
- (2) 機械が故障した場合は、直ちに情報処理センター・スタッフに報告し、その指示に従わなければならない。

附 則

この心得は、平成 7 年 4 月 1 日から施行する。

(省略)

附 則

この心得は、平成 13 年 2 月 1 日から施行する。